



令和3年度川崎商工会議所事業報告の概要

《事業概要》

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の度重なる拡大に伴い、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が相次ぎ、行動制限が余儀なくされた。このような中、困難な状況に直面している中小企業及び小規模事業者の事業継続・雇用維持を図るべく、社会経済情勢に合わせ、部会所属会員相互による情報交換会・講習会・視察会を開催し、業種別の振興・発展を図った。また、経営指導員・専門相談員による各種オンライン経営相談を推進するとともに、SDGs取組支援、テレワーク・オンライン会議等導入支援を実施し、デジタル化、働き方改革及び販売促進等、時宜を得た様々なテーマによるセミナーを開催、企業の課題解決に繋がった。

I. 提案・要望活動の積極的展開

1. 川崎市予算における商工会議所事業運営に関する予算要望

令和4年度予算編成に関して、中小企業・小規模事業者支援に対する経営改善普及事業に対し必要額の確保、充実した予算措置に鑑みた補助金交付について要望。



川崎市との力強い産業都市づくりに向けた意見交換会

2. 神奈川県予算・政策に関する要望

中小企業・小規模事業者への経営支援充実・強化を図る「地域振興事業費補助金」確保・拡充要望並びにJR川崎駅南口改札の設置、臨港道路東扇島水江町線の期間内完工、防災・減災に向けた体制整備強化及び観光施策強化要望を県下商工会議所と連携して実施。

3. 税制改正要望

インボイス方式の廃止、ふるさと納税控除限度額の縮小等、全15項目をとりまとめ、日本商工会議所、国会議員、神奈川県知事に要望。

4. 幹線道路の整備促進要望

川崎縦貫道路の早期整備について、国土交通省、地元選出国會議員、神奈川県及び首都高速道路㈱に対して、コロナ禍により一部手交、一部郵送にて要望。



国土交通省へ川崎縦貫道路の整備等について要望書を手交

II. 販路拡大・ビジネスマッチングの展開

1. 会員ビジネスマッチングの実施

新型コロナウイルス感染拡大により、一部中止を余儀なくされたが、非対面・非接触型による会員交流機会として新たに「新入会員WEBビジネス交流会」を実施。また、広域商工会議所連携による受発注商談会及び「ザ・ビジネスマール」等、リアル・オンライン両方による取引支援を実施。

2. 名産品認定とBuyかわさきキャンペーン

和菓子、洋菓子、工芸品等全96件の「かわさき名産品2021-2023」を新規認定、市内外に紹介、宣伝及び販売促進を実施。また、コロナ禍で出展イベントが一部中止となり、新たに参加店舗における販売イベントを企画、市内34店舗が参加し、共同販売促進活動を展開。



Buyかわさき販売イベント

3. 川崎ものづくりブランド推進事業

市内中小製造業等の優れた製品や技術を発掘、「川崎ものづくりブランド」として5製品を認定し累計104件。オンライン販路開拓支援事業はじめコロナ禍に対応した販路開拓や新市場創出支援を積極的に実施。



川崎ものづくりブランド認定式

III. 中小企業の経営基盤の強化支援と地域活性化の推進

1. 経営改善普及事業の推進

- ①本部及び4支所にて「新型コロナウイルス」「ウクライナ情勢・原油価格上昇等」はじめ特別相談窓口を設置、中小企業・小規模事業者が直面している様々な経営課題の解決を支援するため、経営指導員による巡回・窓口指導及び国・県・市の支援情報を提供、指導。
- ②経営相談指導を16,348件、専門相談員による窓口経営指導204件・巡回経営指導58件、小規模事業者持続化補助金の申請受付311件、一時支援金及び月次支援金の事前確認286件等きめ細かい伴走型支援を実施。
- ③小規模事業者経営改善資金(マル経)推薦 129件 8億110万円(内、コロナマル経 89件 5億2,200万円)等徹底した資金繰り支援を実施。
- ④コロナ禍経営相談事業の一環として、経営指導員・専門相談員による各種オンライン経営相談の推進及びテレワーク・オンライン会議の導入支援を実施。
- ⑤消費税のインボイス制度、コロナ禍支援施策及び労働法制等の改正に伴う円滑な対応に向けて専門家派遣や個別相談会、講習会等を1,099件実施。



ICT活用セミナー

2. 中小企業の事業承継支援

当所が川崎信用金庫、川崎市産業振興財団、川崎市と設置する「KAWASAKI事業承継市場」では、個別訪問指導38件、出張講習会17件及びハイブリッドセミナー2回の開催等を通じ、市内事業者における事業承継問題に関する適切な助言、情報提供及びマッチング支援を実施。また、広報チラシを市内11団体15,000部に配布、広報・啓発活動を展開。

3. 会員事業所の福利厚生支援

会員事業所の役員・従業員を対象とした365日24時間保障の生命共済制度を本格稼働。業務災害補償714件、特定退職金共済346事業所はじめ各種共済・保険制度を通じ、全国商工会議所スケールメリットによる福利厚生支援を実施。また、市内8会場にて「巡回生活習慣病健診」を延べ21日間実施し、会員企業の事業主、従業員及びその家族963名受診。

4. 地域活性化事業の推進

市内商店街の音楽等との融合イベントを支援すると共に、商店街が抱える様々な課題解決に「街おこし協力隊」を派遣し、地域商業の活性化を促進。また、川崎を拠点とする川崎フロンターレ、川崎ブレイブサンダース、東芝野球部はじめスポーツチーム及び文化団体等と積極的連携を図り、地域産業育成に貢献。

5. 中小企業のSDGs取組支援

SDGs(持続可能な開発目標)が示す17の目標と女性の地位向上、環境の持続可能性確保等優先課題を企業経営に反映し、具体的に実践できるようセミナー等を実施。

令和3年度川崎商工会議所事業報告の概要

6. 中小企業の情報セキュリティ対策支援

昨今、社会的脅威となっているサイバー攻撃に対し中小企業が行うべきセキュリティ対策について、運用前の無償トライアル診断はじめ関係機関と連携しセミナーによる情報提供を実施。



中小企業委員会
(情報セキュリティ対策支援)

7. 中小企業の国際化支援

駐日大使館や国際関係機関とのコロナ禍における海外投資環境・市場動向の変化及び越境EC取引・オンライン商談の紹介等、ハイブリッドセミナーによる情報提供はじめ、外国人材支援の就労促進支援等との連携、香港貿易発展局日本首席代表の表敬受入。

貿易関係証明は4,164件発給、新たに電子発給に対応し利便性確保と効率化を図った。

IV. 人材の育成

1. 資格検定試験の実施

ビジネス実務能力の向上を図り産業人材の育成を支援するため、簿記検定やリテールマーケティング検定等全10検定を施行、延べ16,748名が受験。

特に簿記検定では、新たに団体試験及びネット試験を導入、多くの受験希望者に安定的受験機会を提供。

2. 経営者・従業員向けセミナー・研修会の実施

中小企業経営の様々な課題解決に向け、リアル、オンライン、ハイブリッドにて、DX(デジタルトランスフォーメーション)等デジタル化支援や働き方改革対応はじめ、時宜を得たテーマのセミナー・相談会を市内拠点にて年9回開催。

会員限定658テーマを揃えたWEBセミナー(365日24時間視聴)を配信し3,890名利用。

また、新入社員教育研修会91名、若手中堅社員ブラッシュアップ25名に加え、新たに新入社員等フォローアップ研修会41名を実施。



新入社員等フォローアップ研修会

3. 東商大田支部との合同就職支援(人材確保支援事業)

友好提携を締結した東商大田支部と連携し、大学・専門学校等の教育機関、学生と会員企業との広域マッチングを図るため企業視察会・就職説明会等を実施。



人材確保支援事業

4. 婚活事業の実施

中小・小規模企業が抱える後継者問題の解消や従業員の定着率を高める会員サービス事業の一環として、出会いの場創出イベントを実施。応募45社66名、抽選により30社35名選出。マッチング10組。



婚活事業

V. 会議所活動基盤の強化

1. 会員増強運動の展開

総会員数は5,462件。加入367件・退会287件と、令和2年度末対比80件の増。

2. 部会、分科会、委員会事業の開催

①9部会・9分科会にて、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、会員を対象とした講演会6回及び視察会4回はじめ役員会・議員会を展開、業種毎の活性化及び会員組織力の強化に取り組み、部会所属会員相互の経営向上に寄与。

②委員会は、8委員会にて会議11回、視察会2回を開催し、調査・提案・要望を実施。



第2・3工業分科会
会員講演会



商業部会
会員講演会



食品部会
会員講演会



サービス業部会
深谷市会員視察会



情報メディア部会
会員講演会



不動産業部会
会員講演会



建設工業部会
京都会員視察会



理財部会
会員講演会

3. 支所機能並びに巡回指導体制の強化

支所を再編・統合し、支所機能並びに効率的巡回指導体制を強化、地域に密着したサービスを提供。

4. 産業振興拠点としての会館運営

コロナ禍の影響を余儀なくされたものの、主に会議及び研修会場としてKCCIホール(貸会議室)を利用提供すると共に、12階パソコン教室の運営により人材育成の充実及び財政基盤の安定に寄与し、産業振興拠点としての役割を發揮。

5. 情報発信の充実

①当所事業や会員企業の情報発信等について、機関誌「かいぎしょ」を年10回、各回約6,000部発行。また、新たに「WEBかいぎしょ」を当所HPにて公開し、当所事業を広く一般に発信。

②当所事業や関係機関からの支援施策はじめ会員に役立つ最新情報をメールマガジンで延べ24回配信。



川崎フロンティアビル



機関誌「かいぎしょ」

VI. 女性会・青年部(少壮経済人懇談会)

1. 女性会活動の実施

①講演会・視察会等定例会を年7回開催し、会員企業紹介スピーチはじめ、堂本製菓(株)新工場視察会等、会員相互の活動・交流を積極的に展開。

②全国・関東・県下女性会は主にWEB開催。

2. 青年部(少壮経済人懇談会)事業の開催

①役員会7回はじめ、会員一体となった活動を展開。

②視察会は、大相撲鳴戸部屋早朝稽古、甲州ワイナリー及び印傳屋上原勇七本社工場視察を実施し、研鑽及び会員相互の交流を促進。



女性会 会員交流会(忘年会)



青年部 大相撲鳴戸部屋
早朝稽古視察会